

情報コーナー

No. 102

県議会情報～平成22年度決算審査特別委員会～

平成22年度（22年4月～23年3月）の決算審査特別委員会が計6回開催されました。

*10月21日の商工労働部、25日 教育庁を傍聴しました。

【商工労働部】

千葉県が約36%の出資をし、毎年赤字補てんをしてきた(株)かずさアカデミアパークは約57億6900万円の負債をかかえて昨年倒産しました。県は出資金及び赤字補てんをした総額約60億円の債権放棄をし、さらに、未だ年間約10億円以上の税金を投入しながら、構想の見直しを図っています。

～以下、委員会の発言から

決算特別委員会日程

10/21	商工労働部・水道局 人事委員会
10/25	労働委員会・環境生活 教育庁
10/27	県土整備部・収用委員会 監査委員会・議会事務局 出納局
10/31	警察本部・総務部 防災危機管理監
11/2	総合企画部・農林水産部 海区漁業調整委員会
11/7	病院局・健康福祉部 企業庁

共産党K委員

149haのうち、未分譲、未賃貸が95.5ha。かずさアカデミア構想自体は失敗だった。見直しをするにはその原因が何かを明らかにしなければならない。

大塚企業立地課長

かずさアカデミアパークは破たんしたが、大体の構想は失敗したと思っていない。

共産党K委員

失敗と考えていない根拠は？

大塚企業立地課長

14社がすでに立地、1600人の雇用があるので、成功している。

共産党K委員

成功しているならなぜ、見直しをするのか？

大塚企業立地課長

企業立地が進んでいない部分の見直しをして立地を進めていく。

H21年度決算審査特別委員会から（川本さん）

DNA研究所への補助金 年約13億円（H2年度からの総額約277億円）

DNA研究所の自主財源 年約2億3200万円（総額約33億円）

(株)かずさアカデミアパークは、H22年1月25日付で千葉地方裁判所へ民事再生法の適用を申請し、倒産しました。これを成功したという県の担当課長の頭の中はどうなっているのでしょうか。民間企業では決して決して言えない言葉です。この意識改革をしなければ、千葉県は変わらないと思います。それでも、県民の皆さんは、黙っていられますか？投入され、放棄したお金は、皆さんの税金ですよ。



【教育庁】

千葉県の教育費は、全国的に見てもかなり低いです。

	全国レベル
小学校	42位
中学校	36位
特支学校	38位
高校	38位

- ・正規職員：1519名
- ・一年採用講師：1402名



講師採用が多いのは、次年度児童・生徒の定数見込みが困難なことで再任用数（増加している）の把握ができないとのこと。困難、できないではなく、把握できるように努力する意識が問題だと思います。

再任用とは、退職年齢以上の退職した職員を1年契約で再雇用すること

社民党のK委員の質問より

〔セクハラ問題〕

H22年度の処分件数：9件（免職 7名 ・ 停職 2名）

県の対策は、「1人1人の倫理観、人権意識の問題として、研修や社会性の涵養を図る」

〔体罰問題〕

H22年度の処分件数：5件（懲戒 3名 ・ 訓告 2名）

教師の不祥事はどの県でも対応の苦慮しているようです。

今年8月～10月の3か月で6県の教師によるわいせつ事件が続いた静岡県では、県教育長が「万策尽きた」と苦渋の表情で語る姿がTVで放送されました。

教師によるセクハラ行為は研修などで改善されるでしょうか。「優秀な先生を」という声もありますが、「優秀」の基準は何でしょうか。



私が学校のPTAをしていた時に受けた相談から

・教師の異様な行動に不安を感じた女子児童の保護者から受けたA教師、毎年学級崩壊、あるいはそれに近い状況が発生するB教師は、共に「優秀」な教師といわれていました。確かに、レベルの高い大学を卒業し、真面目そうに見えました。

H22年度決算審査特別委員会から（川本さん）

・わいせつ・セクハラによる懲戒処分件数

H19年度は7件、H20年度は5件、H21年度は9件、
H22年度（11月5日まで）4件

・市町村教育委員会でのセクハラの調査実施状況について
連携として実施率を把握しているが、調査結果は把握していない

4万人の教職員一人一人について、セクハラに関することについて個々に調査することはなかなか難しいことなので、まずはこういうセクハラ調査である程度匿名性も尊重しながら調査しているというのが実態です。その中で、課題のあるものについては、最終的には一人一人の教職員を指導する立場、あるいは人事を発動する立場から市町村の報告を踏まえて、詳細に調査して対処していくという事を考えております。（鬼澤教育庁の答弁より）

調査で上がってくるかという、現実はどうでしょうか。匿名であればその信憑性もありますが、匿名あっても記入できないほどの精神的ショックも考える必要があると思いま



18日間6回で20の部局の決算審査をするのは、とても無理があると思います。さらに、9月定例県議会が10月18日に終わり、中2日おいての特別委員会です。決算資料を見て、さらに資料を請求し、質問を作る作業は、この短期間にはとても無理なことです。日程からしても、きちんとした審査ができないようになってきていると思います。この委員会でも、**自民党委員から野次**が飛びました。社民党のK委員の質問に「そんなことは後で聞けばいいだろ。」と。

何のための公開の「決算審査特別委員会」か、わかっているのでしょうか。

ヤジに対しては、**委員長は注意すべき**ですが、委員長は自民党ですから それを望むのは、無理なことかもしれません。

